

下町・両国を舞台にした音楽祭、両国アートフェスティバル(略してRAF)。  
5年目の今年は、芸術監督にアメリカ在住の日本人作曲家、内藤明美を迎え  
50席ほどの小さなスペース・両国門天ホールに置かれたピアノを通して  
5日間にわたってお届けいたします。

親しみやすい小空間で、世代・地域を越えて体験する  
“今”の音楽に耳を傾けてみませんか。

門天とエミリ・ブロンテ、そして一台のピアノ

Ryogoku Monten Hall presents  
Ryogoku Art Festival 2019  
Director: Akemi Naito

第5回

# 両国アート フェスティバル 2019

芸術監督◎内藤明美

参加◎

ジェシカ・パウワーズ (メソ・ソプラノ)

Jessica Powers, mezzo soprano

作間敏宏 (美術・映像)

Toshihiro Sakuma, visual art

井上郷子 (ピアノ)

Sayoko Inoue, piano

篠田昌伸 (ピアノ)

Masanobu Shimoda, piano

博谷静香 (ピアノ)

Shizuka Hattori, piano

\* \* \*

芦澤久江 (英文学者)

Hisae Ashizawa, lecturer

期間◎2019年7月28日(日)～8月5日(月)

会場◎両国門天ホール

(墨田区両国1-3-9ムラサワビル1-1F)

主催：一般社団法人もんでん

助成：アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)

芸術文化振興基金助成事業

協賛：株式会社河合楽器製作所

協力：ナヤ・コレクティブ

関連企画◎門天サマーアカデミー

[www.monten.jp](http://www.monten.jp)

門天  
since 1989  
Ryogoku Monten Hall

詩的モノ・オペラ

## 『エミリ・ブロンテ〜生と死を通じて、束縛されない魂』

～エミリ・ブロンテの詩に基づく一幕のオペラ (2017) 日本初演、原語上演・字幕付き

A プログラム

program

# A

日時◎2019年 7月28日 (日) 16:00 開演 (15:30 開場)

7月30日 (火) 19:00 開演 (18:30 開場)

エミリ・ブロンテ生誕二百年を記念し 2018 年にアメリカで初演された、メゾソプラノとピアノによるモノ・オペラを日本初演。初演キャストのジェシカ・パウワーズ、美術家の作間敏宏に加え、現代音楽ピアノ演奏の第一人者である井上郷子が参加、新たなコラボレーションを目指します。

テキスト：エミリ・ブロンテ

構成・音楽：内藤明美

美術・映像：作間敏宏

出演：ジェシカ・パウワーズ (メゾ・ソプラノ)

井上郷子 (ピアノ)

\*上演前に、オペラのなかで用いられる7つの詩の朗読映像 (朗読：ロバート・イアン・マッケンジー) を上映します。

## 芦澤久江講演

### 『エミリ・ブロンテの詩における時間と空間』

B プログラム

program

# B

日時◎2019年 7月29日 (月) 18:30～20:30 (開場 18:00)

ブロンテ研究家・芦澤久江を迎えて、今回のオペラにも使われている詩を中心に、エミリの宇宙観について講演を行います。

講師：芦澤久江

進行：内藤明美

## コンサート『アメリカに見る創造精神』

C プログラム

program

# C

日時◎2019年 8月4日 (日) 19:00 開演 (18:30 開演)

8月5日 (月) 19:00 開演 (18:30 開演)

内藤明美の視点から、30年近く暮らすアメリカにおける独創的なピアノ作品を紹介します。

曲目◎リチャード・キャリック《音の手触り》2台ピアノのための (2015)

Richard Carrick: la touche sonore pour deux pianos

スティーブ・ライヒ《ピアノ・フェイズ》(1967)

Steve Reich: Piano Phase

エリオット・カーター《ピアノについての2つの考察》より II. 連鎖 (2006)

Elliott Carter: Two Thoughts About the Piano II. Caténaires

エリック・リチャーズ《フィールドの解明》(1988)

Eric Richards: The Unravelling of the Field

アニア・ロックウッド《RCSC》(2001)

Annea Lockwood: RCSC

エレノア・ホブダ《スプリング・ミュージック・ウィズ・ウィンド》(1973)

Eleanor Hovda: Spring Music with Wind

ジョージ・クラム《時代精神》2台の増幅されたピアノのための6つのタブロー(1989)

George Crumb: Zeitgeist: six tableaux for two amplified piano

ピアノ：井上郷子、篠田昌伸、樽谷静香

## 公演によせて

内藤明美 (芸術監督)

2019年、門天30周年、5回目の記念すべき両国アートフェスティバルのため、ニューヨークで出会ったピアノ作品と、ニューヨークで制作・初演したピアノを伴うモノ・オペラ作品の上演を企画しました。日本ではなかなか実演されない作品を聴く機会となります。プログラムは3つ。ひとつは、昨年生誕二百年を迎えたイギリスの作家、エミリ・ブロンテの詩をテキストに用いた詩的モノ・オペラを、初演を担ったメゾ・ソプラノ、ジェシカ・パウワーズを招いて日本初演します。さらにセミナーでは、ブロンテ研究の第一人者、芦澤久江氏をお迎えし、ブロンテの創作の真髄についてお話を伺う貴重な機会となります。プログラムの最後は、夏の門天の象徴、2台ピアノ作品を含む、アメリカの作曲家たちの作品を選びました。アニア・ロックウッド、エレノア・ホブダのピアノ・ソロによるパワフルな内部奏法の作品、そしてジョージ・クラムの2台ピアノの内部奏法作品に加えて、若手のリチャード・キャリック、楽譜がアートそのものであるエリック・リチャーズ、そして、スティーブ・ライヒ、エリオット・カーターの作曲のコンセプトが輝く作品が並びました。独創性について思いを馳せるコンサートになることを願って、多くの方々のご来場をお待ちしています。

『エミリ・ブロンテ』  
ニューヨーク初演より (2018年)



チケット◎Ticket (税込)◎全自由席

A・C各プログラム：予約 一般 advance ¥3,000  
門天会員・学生 student ¥2,500

Bプログラム：予約 一般 advance ¥1,000  
門天会員・学生 student ¥800

当日券 Door +¥500 増し

ご予約・お問い合わせ◎Information

両国門天ホール メール：ticket@monten.jp

電話 & FAX：03-6666-9491

HP：http://www.monten.jp/RAF5

フリーダイヤル：Confetti (カンフェティ)

0120-240-540 (平日 10:00～18:00)

※HP、フリーダイヤル予約でのチケットは、お近くのセブンイレブンでの受け取り、精算となります。HPからお申込の際には、クレジットカード決済、またはチケット受け取り時にセブン・イレブン店頭でお支払いの、どちらかをお選びいただけます。クレジットカード決済を選択された場合、チケット受け取りはお申込みより4日後からとなります。発券手数料はかかりません。※門天会員券、全公演通し券は、メール、電話、FAXのみの受付となります。※学生券は、受付にて学生証をご提示ください。※未成年者の入場はご遠慮ください。



内藤明美 Akemi Naito ●芸術監督・作曲

作曲家。東京生まれ。桐朋学園大学作曲科卒業。アジア・カルチュラル・カウンシルの助成により、1991年に渡米。ニューヨーク在住。2000年に作曲されたマリンバのための『遠の記憶』は、世界中で広く演奏されている。2018年1月、ニューヨークで初演された、エミリ・ブロンテの詩をテキストに用いた、メゾ・ソプラノとピアノによる詩的モノ・オペラ『エミリ・ブロンテ』は、「言葉が音楽と一体となった時に見出される美しさのすばらしい一例で、それぞれが新しい生命と意味を相互に与えるもの”であり、“ブロンテの天才にふさわしい生誕二百年祝い”(Opera Wire) との高い評価を受けた。2019年秋に新しいCDアルバムがPARMA Recordingsからリリースされる。

www.akeminaito.com



ジェシカ・パウワーズ Jessica Bowers ●メゾ・ソプラノ

オペラ歌手として、ユタ・オペラ、オペラ・ボストン、カラムア・オペラ、セントラル・シティ・オペラ、オハイオ・ライト・オペラに出演。これまで、『サウンド・オブ・ミュージック』の修道院長、『ヘンゼルとグレーテル』のヘンゼル、『魔笛』の第3の侍女、『セビリアの理髪師』のロジーナ、ジョン・ハーピソンの『三月の満月』の女王、『ホフマン物語』のニクラウス、『真夏の夜の夢』のヒポリタなどを演じている。コンサートでは、ポエティカ・ムジカ、サノーラ・トリオとの共演に加えて、ギタリストのオーレン・フェイダーとのパウワーズ・フェイダー・デュオとして、定期的にコンサートを行っている。昨暮は、シアター・オブ・ニューヨーク・シティとの共演で『確かな静寂』のニューヨーク初演に出演。http://www.jessicabowers.net



作間敏宏 Toshihiro Sakuma ●美術・映像

1957年宮城県生まれ。1982年東京芸術大学大学院修了。1985年以降、国内外の個展・選抜展で数多く作品を発表している。1993年に、生命のON/OFFに見立てて精神に調光した電球を家系図やビニールハウスなどに配置し、生命の連続や切断を想起させる静謐なインスタレーション連作『治癒』を開始する。1998年からは、電球を人名に持ち替えた連作『colony』を開始。膨大な数の人名を書物・名札ボードなどに流し込み、個と集合の関係や不在を可視化する仮構空間づくりをめざす。2003年からの連作『接着 / 交換』では、印刷物やウェブサイトから無数の画像と映像を蒐集し、それらを重ね、加工し、構成したビデオ / フォトインスタレーションを開始する。



井上郷子 Satoko Inoue ●ピアノ

東京学芸大学大学院作曲科修了。ムジカ・プラクティカ・アンサンブルのメンバーを経て、1991年よりソロ活動。"Satoko Plays Japan"をはじめとする多くのリサイタルを行ない、特に、近藤譲ピアノ作品・全曲演奏やモートン・フェルドマン作品の演奏等で高い評価を受ける。海外の現代音楽祭から度々招聘され、ヨーロッパ、南北アメリカ、中東各地でソロリサイタル、マスタークラスの講師も務める。2008年よりコンサート・シリーズ"Music Documents"の企画・制作、「第1回両国アートフェスティバル2015」芸術監督。2018年よりプロジェクト「未来に受け継ぐピアノ音楽の実験」に携わる。ソロCDアルバムは、HatHut Records(スイス)等より出版。第10回佐治敬三賞受賞。現在、国立音楽大学教授。



芦澤久江 Hisae Asitazawa ●講師 (英文学)

イギリス、バーミンガム大学大学院人文学部英文学専攻修士課程修了。現在、静岡英和学院大学短期大学部教授。専門は19世紀イギリス文学、特にブロンテ姉妹。イギリス・ブロンテ協会会員。著書、論文：ジル・ディックス・グナシア『エミリ・ブロンテ 神への叛逆』(共訳 彰流社)、アレグザンダー・マクマースター『子供が描く世界』(共訳 彰流社)、『詩人エミリ・ブロンテについて』(『エミリ・ジェイン・ブロンテ詩集』所収 国文社)、『エミリ・ブロンテの詩について』(『言語文化』所収 明治学院大学言語文化研究所)、『テキストの伝達』(『ユリイカ』所収 書土社) など。



篠田昌伸 Masanobu Shimeda ●ピアノ

東京藝術大学音楽学部作曲科卒業、同大学院修士課程修了。これまでに作曲を尾高博忠、土田英介、ピアノを指本枝未子、大島ひとみの各氏に師事。第22、27回日本交響楽振興財団奨励賞。第74回日本音楽コンクール作曲部門第1位。第1回イクリア文化会館日本国内作曲コンクール審査員特別賞。第9回佐治敬三賞。06年 just composed in YOKOHAMA 委嘱作曲家。11年武生国際音楽祭、14年 JFC アジア音楽祭 in 横浜、にて作品が招待される。複数の作曲家グループ(NEXT, Cue, クロノイ・プロトイ)に参加し作品を発表する他、ピアニストとしても新作初演や伴奏等に多く関わっている。ピアノ曲《炭酸》が全音楽譜出版社にて出版。東京音楽大学、国立音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校、日大藝術学部、非常勤講師。



樽谷静香 Shizuka Kuretani ●ピアノ

東京都出身。2003年、東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業。2006年、Ensemble-Akademie Freiburg 参加。古典作品から新作まで、アンサンブルを主軸とした演奏活動を行う。近年は同時代の作曲家たちとの企画にも積極的に携わっており、これまでに数多くの新作初演を手がけている。また、小出稚子作品集『南国の魚、穏彩色の夜』(記億限定版)、『四季』星谷文生作品集(fontec)等、初演等に関わった作品のレコーディングに際しては、作曲家の指名により参加している。ピアノを三谷温、石附秀美、東誠三の各氏ほかに師事。



KAWAI

## 門天の夏2019～近藤譲特別講義／自作指揮クラス／コンサート ● 2019年8月18日(日)～20日(火)

真夏の3日間、現代音楽にどっぷりと浸かる新企画が登場。

作曲家・近藤譲の特別公開講義。作曲家／指揮者の杉山洋一を講師に、自作の室内楽アンサンブル曲を自分で指揮する、ほかに類のない講習会。そして最終日には受講生発表と、選り抜きの現代音楽プログラムのコンサートを行います。

### 【近藤譲 特別講義】

日本を代表する作曲家・近藤譲の作曲講義。

どなたでも参加可能です。

日時 ● 2019年8月18日(日) 17:30～19:30終了予定 (17:00開場)

### 【コンサート】

自作指揮クラス発表と、演奏陣による現代音楽プログラム。

日時 ● 2019年8月20日(火) 19:00開演 (18:30開場)

出演 ● 松岡麻衣子 (ヴァイオリン)、般若佳子 (ヴィオラ)  
山澤慧 (チェロ)、安田結衣子 (ピアノ)

\* 演目は決まり次第Facebookにて発表します。  
\* 終了後クロージングレセプションがあります。

### 料金 (税込) ●

特別講義 (18日) : 2,000円

コンサート (20日) : 2,000円

特別講義とコンサートのセット券 : 3,000円

自作指揮クラス 受講料 : 50,000円 \* 18日の特別講義の入場料を含みます。

自作指揮クラス 聴講料 (8/18、19) : 1,500円/日 (税込)

参加申し込み・問い合わせ ● 裁企画 (橋本晋哉)

shinya.hashimoto@gmail.com

Facebook : <https://www.facebook.com/>

主催 : 裁企画 (橋本晋哉) | 共催 : 一般社団法人もんでん | 制作協力 : ナヤ・コレクティブ

### 【自作指揮クラス】

講師 ● 杉山洋一

演奏 ● 松岡麻衣子 (ヴァイオリン)、般若佳子 (ヴィオラ)、  
山澤慧 (チェロ)、安田結衣子 (ピアノ)

スケジュール :

8/18 (日) 10:15～11:45 集団基礎テクニック (聴講生も実技参加可能)  
12:30～16:00 公開レッスン

8/19 (月) 13:00～18:00 公開レッスン  
18:00～19:00 演奏家とのトークセッション  
(楽器の使い方、パート譜の書き方について)

8/20 (火) 13:00～16:00 リハーサル  
19:00～コンサート (第一部 : 受講生発表会)

・ 定員6名・先着順  
・ 下記編成による自作を自身の指揮で、一人3回の公開レッスンおよびリハーサルを行う予定。  
・ 最終日 (8/20) に成果発表演奏会を行います。

提出作品について :

・ 編成 : ヴァイオリン1・ヴィオラ1・チェロ1・ピアノ1 (内部奏法不可) の範囲で任意の6分以内の3重奏または4重奏

・ 提出方法 : スコア、パート譜、簡単な作品解説を、メール添付のPDFファイルにて送付。

・ 提出先 : 夏の現代音楽セミナー (左記「問い合わせ先」に同じ)

・ 提出〆切 : 2019年8月1日 (木) 必着

受講申込 : 〆切 2019年7月31日 (水)

メールにて以下の内容を記載して送信ください。

件名 : 自作指揮クラス申し込み (氏名)

1) 氏名 2) 年齢 3) 住所 4) 電話番号 5) メールアドレス

6) 経歴 (200字程度)

## 第7回「ワンハンド・ピアノフェスタ!」in Tokyo ～片手でチャレンジ～

手に障害がある人もない人も「片手のピアノ演奏」を楽しく学べます。

日程 ● 2019年8月25日(日) 13:30開演 (13:00開場)

第1部 13:30～16:30 片手の演奏発表会と  
左手のピアニストによるレクチャー  
レクチャー及び講評 ● 智内威雄

16:45～17:30 ミニコンサート  
ピアノ ● 智内威雄、高岡準、早坂眞子

第2部 18:00～20:00 懇親会 (参加費2,500円)

主催 : 一般社団法人ワンハンドピアノミュージック | 共催 : 一般社団法人もんでん

発表会参加について ●

・ 定員 : 15名

・ 参加条件 : 片手によるピアノ演奏。演奏時間10分以内。

・ 参加費 (税込) : 5,000円

\* 運弾など2名以上のアンサンブルで参加の場合も、各自参加費が必要となります。

・ 聴講 : 定員35名、料金1,000円 (税込)

申し込み・問い合わせ ● 公式サイト申込フォーム

[http://onehandpianolesson.com/?page\\_id=264](http://onehandpianolesson.com/?page_id=264)

☎090-6047-3005 (ワンハンドピアノミュージック事務局)

参加申し込み期間 : 2019年6月1日 (土)～8月10日 (土)

## 未来に受け継ぐピアノ音楽の実験 第2期 第6回「第5回両国アートフェスティバル」スピンオフ

両国アートフェスティバルの中で演奏された曲目から、特殊奏法を用いた作品を実習します。

日程 ● 2019年9月8日(日) 14:00～17:00 (13:30開場)

講師 ● 井上郷子、伊藤祐二、三浦明道

主催 : 一般社団法人もんでん | 協力 : nothing but music、ナヤ・コレクティブ  
後援 : 日本現代音楽協会 | 助成 : アーツカウンシル東京 (公益財団法人東京歴史文化財団)

予定曲 ●

アニア・ロックウッド《RCSC》(2001)

エレノア・ホプダ《スプリング・ミュージック・ウィズ・ウィンド》(1973)

聴講料 (税込) ● 1,000円 \* 現在は聴講のみ受け付けています。

申込先・問い合わせ ● 両国門天ホール

メール [ticket@monten.jp](mailto:ticket@monten.jp)、☎&FAX 03-6666-9491 (火曜日休館)

会場

## 両国門天ホール

〒130-0026 墨田区両国1-3-9ムラサワビル1-1階

tel&fax 03-6666-9491 [www.monten.jp](http://www.monten.jp)

【アクセス】

- ・ JR「両国駅」西口より徒歩5分
- ・ 地下鉄都営大江戸線「両国駅」A4、A5出口徒歩10分
- ・ 地下鉄都営浅草線「東日本橋駅」徒歩10分

